

研究課題名	胃切除Roux-en-Y再建症例における総胆管結石に対するバルーン内視鏡下結石治療の成績と截石困難の危険因子の検討
研究の意義・目的	胃切除 Roux-en-Y (RY)再建症例における Balloon assisted endoscopy (BAE)による総胆管結石治療は難渋する症例は少なくなく、その治療成績は未だ不明である。当院の治療成績を明らかにし、截石困難の危険因子を探索することを目的とした。
研究を行う期間	研究機関の長の実施許可日-2025年3月31日
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2015年1月から2022年2月までに大阪公立大学医学部附属病院消化器内科で、BAEを使用し内視鏡的逆行性胆道膵管造影検査(ERCP)を施行した術後再建腸管の症例中、総胆管結石を有する胃切除RY再建後の患者さんが対象です。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記の項目を使用させてください。 具体的には、病歴、診断名、年齢、性別、BMI、併存疾患、既往歴、血液検査データ、CT画像、結石の性状、ERCPデータ、偶発症、処置日、治療後経過、追加治療や再治療内容です。
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学医学部附属病院消化器内科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学医学部附属病院消化器内科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院 医学研究科 消化器内科学 病院講師 丸山 紘嗣
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪公立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。また、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	研究責任者 大阪公立大学大学院 医学研究科 消化器内科学 丸山 紘嗣 住所 545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3 電話 06-6645-3811 FAX 06-6645-3813 E-mail hiromaruyama99@gmail.com